

戦略1 交流人口の拡大による地域経済の活性化

インバウンドを含め、北陸新幹線を使って多くの観光客が高岡を訪れるとともに、ビジネスで訪れた方も観光を楽しむことにより交流人口が増え、飲食、買物、宿泊等により地域経済に波及効果が生まれ、シビックプライドが醸成される。

SDGs 17のゴールと
戦略1との関連



<目標値>

指標	基準値	実績値	目標値
高岡市の観光入込客数	380万人 (2015年)	371万人(2019年) 183万人(2020年)	450万人(2020年) 400万人(2027年)

※2020年実績値は、速報値
2027年目標値は、第2期高岡市総合戦略「みらい・たかおか」396万人(2025年)より修正

<改訂版における位置づけ ◎…重点施策 N…新規施策(変更含む) ◆…2022-2024期優先施策>

推進方法1-1 ニューノーマルにおける新しい観光スタイルの推進

【主要施策】

◎広域観光の推進

- ・飛越能の玄関として、新高岡駅を拠点とする広域観光連携の推進
- N・県西部地域にある観光資源の歴史文化ストーリー活用と発信
- ◆N・地元の人が高岡の魅力を再発見するマイクロツーリズムを提案

◎デジタル化に対応した観光対策の推進

- N・SNS映えする魅力地の洗い出し等、興味を引く仕掛けづくり
- ・観光需要回復を見据え、インバウンド向け情報発信の充実
- ◆N・県西部6市の観光情報を発信する共通プラットフォームの再構築(観光協会等と連携)

KPI: 当所観光関連HP*のアクセス数 392,850件(2020年) → 470,000件(2024年)

※「高岡産業観光ガイド」、多言語ガイド「OIDEYOTAKAOKA(おいでよたかおか)」の合計数

◎プロモーション活動の強化

- ◆・大都市圏等の旅行会社へのツアー商品(個人旅行向け)の提案
- ・国の観光需要回復政策の積極的な活用支援
- ・県西部DMOとの連携

推進方法1-2 藤子・F・不二雄先生のふるさとづくり

◎個性あるキラコンテンツづくりと市民意識の醸成

- ・キラコンテンツ(藤子・F・不二雄先生のふるさとづくり)の確立(行政機関と連携)
- ・藤子・F・不二雄先生ゆかりの地の発信(市民参加型発信の提案)
- ・ドラえもんトラム、モニュメント、電停のラッピング等の継続

推進方法1-3 歴史文化遺産の活用・産業体験観光による産業の活性化

◎歴史文化遺産の活用と地域産業の活性化

- N・勝興寺の国宝化推進
- ◆・歴史文化資源のモデルコース化(例:大伴家持の万葉歌を辿る旅)、プロモーションの実施
- ・高岡古城公園の魅力向上策の推進(高岡城跡の整備・活用)
- ・山町筋、金屋町、吉久における出店支援等、観光まちづくりの推進

KPI: 主要観光施設*の入込数 301,311人(2019年) → 300,000人(2024年)

※高岡御車山会館、瑞龍寺、勝興寺、高岡万葉歴史館(実数計測施設)の合計数
コロナ影響以前の2019年を基準年とする。

◎産業体験観光の推進

- ・産業観光参画企業の拡大(伝統工芸、ものづくり産業、郷土料理作り体験の参加拡大)
- ・旅行会社等と連携した旅行商品化の推進

推進方法1-4 MICE 招聘機能の充実

◎MICE 招聘活動の支援

- ・各種関連団体の全国大会・会議、展示会、スポーツ大会・合宿や修学旅行等の招聘活動の支援(行政機関等と連携)

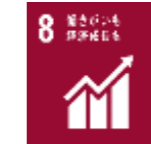
◎N 高岡テクノドーム別館の整備促進

- ◆・テクノドーム別館の2024年春完成への働きかけ

戦略2 DX推進を柱とする企業競争力の強化

企業特性に応じたDX推進サポート体制を整えることで、経営力の強化を支援するとともに、ニューノーマルに対応したビジネスモデルの変革に挑戦する企業に対し、伴走型支援の強化を図る。
また、クリエイターとの連携による工芸都市高岡の産地活性化を推進する。

SDGs 17のゴールと
戦略2との関連



<目標値>

指標	基準値	実績値	目標値
市内事業所数の維持	9,297 事業所 (2017年)	— (2021年活動調査予定)	9,000 事業所 (2020年) 8,500 事業所 (2027年)

※2017年基準値は、2016 経済センサス活動調査（速報値）
参考）2019 経済センサス基礎調査によると、9,988 事業所（←9,852 事業所:2014 基礎調査）

<改訂版における位置づけ ◎…重点施策 N…新規施策(変更含む) ◆…2022-2024 期優先施策>

推進方法2-1 DX推進による経営力の強化

◎N 企業特性に応じたDX推進サポートの強化

- ◆・デジタル化推進による生産性向上支援
(IoT等導入計画策定や補助金活用、ネット環境整備、ペーパーレス化等)
- ◆・小規模事業者のDX支援を強化(身の丈ITの導入事例紹介、クラウド会計等の導入促進)
- ・各種支援策情報の発信、支援機関との連携サポート

KPI: 会員へのメール配信対応企業数 0件(2020年) → 2,000件(2024年)

※2021年8月 会員登録企業数(FAX送信2,301件、メールマガジン配信960件)

推進方法2-2 伴走型支援による小規模事業者の経営強化

◎創業・事業承継支援の強化

- ・支援ネットワークを活用し、創業・事業承継に関して事業計画策定や補助金支援等の実施

KPI: 創業・事業承継計画の策定支援企業数 12件(2020年) → 35件(2024年)

※経営発達支援計画の目標値より

◎N ニューノーマルに対応したビジネスモデルの変革に挑戦する企業への支援強化

- ・業態転換等に取り組む事業者の新たな需要開拓への支援

◎新事業展開・業務改善に取り組む企業への支援強化

- ・中小企業施策(経営革新等)・各種補助金支援、専門家派遣等による伴走型支援

- ◆N・BCP(事業継続力強化計画等)の策定支援

推進方法2-3 クリエイター連携による工芸都市高岡の産地継承

◎クリエイターとの連携による情報共有・経営支援

- ・クリエイターと地元事業者との共同商品開発において販路開拓を図る等、クリエイターとの連携による支援を継続実施
- ・事業者の海外進出、新分野開拓等の情報共有及び伴走型の経営支援

◎クラフトイベントの実施(支援)

- ・クラフトコンペの継続開催
- ・市内クラフトイベントの連携開催

◎伝統技術の継承・発信

- ・文化財の再現、修復事業の海外販路開拓(行政機関等と連携)

推進方法2-4 呉西圏域連携による次世代産業の創出

◎関連機関との連携による新産業の創出

- ・次世代産業等(ヘルスケア産業、カーボンニュートラル等)に関し、他支援機関等(県の各種コンソーシアム等)との関係を密にして、技術面や市場予測等の情報提供に努め、地域企業の取組みを促進

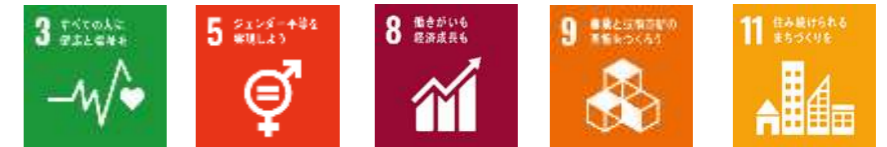
◎企業誘致・支援施設充実の推進

- ・地元企業の技術高度化に資する企業誘致の推進(行政機関と連携)
- ◆・支援施設充実の推進(例:理工系大学等の誘致等)

戦略3 働きやすい魅力ある都市づくりの推進

働き方改革やSDGsを推進することにより、都市イメージの向上を図りU I Jターンの受入を強化する。リノベーションを柱に中心市街地と新駅周辺を核とする市街地の再整備を進めるとともに、都市交通機能の強化を図り、魅力あるまちづくりを推進する。

SDGs 17のゴールと
戦略3との関連



<目標値>

指標	基準値	実績値	目標値
市内事業所の健康経営宣言数	35 事業所 (2017 年)	134 事業所 (2020 年)	100 件 (2020 年) 会員事業所(従業員 10 人以上) 50%(2027 年)

<改訂版における位置づけ ◎・重点施策 N・新規施策(変更含む) ◆・2022-2024 期優先施策>

推進方法3-1 働き方改革の推進及び健康経営の普及

◎N 新しい働き方の導入支援の強化

- ◆・テレワークやリモートワーク等、新しい働き方の実現に対し企業支援を強化
 - ・女性活躍推進や同一労働同一賃金の対応支援
 - ・経営者・従業員の意識改革の推進（経営者、従業員向けセミナー等の開催）

KPI：テレワーク等の導入企業数 前年比 10%増（2024 年）
※会員事業所向けアンケート調査（2021 年より毎年実施）にて算出

○健康経営宣言の普及

- ・情報発信、セミナー開催等による健康経営の普及促進
- ・健康経営都市ブランドの推進（行政機関等と連携）

○移住・U I Jターンの強化

- ・「たかおか企業人材確保推進事業」の実施（行政機関との共同事業）
（住みやすさ等の移住PR、ワーケーション等の多様な働き方への対応等）

◆N・広域にわたる幅広い産業への就業機会と新居住空間の提供（行政機関・民間との連携）

推進方法3-2 都市交通機能の充実

○N 都市交通機能の利便性向上

- ◆・城端線・氷見線のLR T化・直通化及び万葉線との一体化の研究・推進
- ・万葉線やあいの風とやま鉄道、バス等を含む県内総合交通システムの調査・検討

○新高岡駅 飛躍的増加を目指す利用促進活動の実施

- ・2024 年 3 月に予定されている北陸新幹線敦賀延伸に向け、新高岡駅の利用促進（乗降客増加）活動の実施及びかがやき停車の働きかけ

推進方法3-3 市街地再構築及び新高岡駅周辺まちづくりの推進

◎N 中心市街地と新駅周辺を核とする都市の魅力向上の推進

- ・ローカル 5G や e スポーツ施設等、先進的なハード・技術投資を活用する魅力向上（行政・まちづくり機関との連携）
- ◆・中心市街地：ミニ再開発・空き店舗活用等の支援（行政・まちづくり機関との連携）
高岡駅～末広町・御旅屋通～古城公園を結ぶウォーキングエリアの形成
- ◆・新高岡駅周辺：広域通勤居住圏・広域観光拠点の構築（行政機関との連携）

KPI：末広町・御旅屋通 空き店舗率（職員調査） 10%減（2024 年）
※末広町 市公表：空き店舗 18 件、28%（店舗数 64 店）
➡職員調査：物件数 64 件中、閉店している物件 17 件（27%）、夜間営業店舗 10 件（16%）
御旅屋 市公表：空き店舗 4 件、11%（店舗数 37 店）
➡職員調査：物件数 52 件中、閉店している物件 18 件（35%）、夜間営業店舗 15 件（29%）

○リノベーションまちづくりの推進

- ・リノベーション物件の情報収集、起業相談等による支援

推進方法3-4 商工会議所の体制強化

◎N 商工会議所及び会員企業におけるSDGsの取組推進

- ◆・高岡商工会議所版SDGsの計画的実施
- ◆・会員企業向けセミナー等の開催、事業計画策定等のSDGs取組支援

○商工会議所事業の強化

- ・青年部、創志会、女性会等との連携強化（定期例会の開催）
- ・会員大会、企業PR関連事業、集合健康診断事業等の会員サービス事業の充実
- ・事務局職員の資質向上（研修・資格取得制度の充実）